

交通事故防止啓発チラシの受領式を大分県警察にて開催 ～大分県警察本部にチラシ3万枚を寄贈～

日本損害保険協会九州支部大分損保会（会長：大西 章泰・損害保険ジャパン株式会社 大分支店長）では、大分県警察と連携して、2021年に大分県で交通事故が多発した交差点を掲載した注意喚起チラシを作成し、2023年2月17日に大分県警察本部にてチラシの受領式を開催しました。

交通事故の過半数は交差点および交差点付近で発生しているため、チラシ片面には2021年の大分県内事故多発交差点ワースト3の交差点を、もう片面には、大分県警察からの要望を受け、2023年4月から全ての自転車利用者に努力義務となるヘルメット着用について、交通安全啓発をするチラシを作成しました。特に、大分県の事故多発交差点では、信号機がなく交差点名もない交差点でも事故が多発していることから、県民の方に当該交差点の場所を確認いただくほか、信号機のない交通量の少ない交差点でも事故に留意していただけるように、チラシを寄贈しました。

受領式では大分県警察本部交通部 渡邊 豊士交通部長および大西大分損保会会長から挨拶があり、渡邊交通部長からは「いただいたチラシは、県警のみならず関係機関・団体と連携し、県民の皆様への周知活動に活用させていただく。我々は、交通事故のない日本一安全な大分を目指して、取り組んでいく。」と力強い発言がありました。

日本損害保険協会では、人身事故の過半数を占める交差点・交差点付近での交通事故の防止・軽減を目的として、毎年「全国交通事故多発交差点マップ」を公表しており、大分損保会でも引き続き交通事故防止に向け、関係団体等との連携を推進するとともに、より効果的な啓発活動に取り組んでいきます。

